

第四十九回 顎関節症と頭蓋硬膜の緊張の違い

顎関節症は左右の歯が正常な数に揃っている場合は、主として右側に起こるものです。ところが、左側に起こる場合は片側咬みか片側の歯が抜けたままか、または骨盤の真ん中の骨である仙骨が捻れを起こしている場合、又、左右の耳穴の斜め下後ろ 3cm 位のところに骨の突起である乳様突起の左右が前後にズレて右側が後ろに下がっている場合は左側に顎関節症をおこすものですが、この左右乳様突起が上下にズレていますと頭蓋骨の後ろの骨である後頭骨が捻れていることになり、この後頭骨は頭の後ろから首の骨の両脇を越えて前まで伸びて首の骨を 2 点で支えています、捻れることにより首の骨のバランスを崩し、それを補正している腰の骨とが異常を起こし、必ず腰痛を起こしているものです。

又、後頭骨は骨盤の仙骨と補正しているものです。後頭骨が捻れれば仙骨も捻れるものです。骨盤の仙骨を正常な位置にしますと、一瞬に右側の顎関節症に変わるものです。

右側に起こるといのは、地球と太陽の関係で太陽の周りを地球は左周りで回転するものです。又運動場を走る場合も左周り、大海の回遊魚も左周りです。

右側顎関節症ですと頭から足のまでの右側全ての関節部が異常反応を起こし、左側の頭から足までは血流が悪くなるものです。

それが故に右と比較して左側の体温が低いとか左のほうがやや視力が落ちたりするものです。

右顎関節症ですと、頭蓋骨を四角い箱にたとえますと上から押して右へ傾いたひし形の箱を想定しますと、右側の箱の側面と、右側の箱の底とが一对で、左側の箱の側面と左の箱の底とが一对でお互いに左右が逆方向に捻れた状態になるものです。

これが耳の穴辺りの側頭骨です。この骨が捻れることにより、左右の血流が変わり、左右の視力が違ってくることになり、鼻づまり、耳鳴り、左右の歯の咬み合わせのバランスが変わったりする原因の 1 つになるものです。

現れ、顎関節症の人は顎関節症だけでなく、頭蓋硬膜の緊張も併発しているものです。

例をあげますと、新幹線に乗ると発車して 1~2 秒で、強く咬まない状態で左右の足の長さが 4cm 程違いが出てくるものです。(骨格系統の異常)

そして、そう一と静かに上下の歯を合わせますと、片方が当たって片方が浮いている状態となります。

さらに、半日または 1 日過ぎますと、左右の足の長さが少しは違いますが、ほぼ同じ長さになっているものですが、上下の歯をあわせると片方だけが浮いた状態のままです。

仰向けで寝て、下顎を片側イッパイにズラしますと、正常な人は反対側の足は短くなるもの(下顎を右側にズラした場合は左足が短くなる)ですが、神経伝達の異常になりますと、無反応で、反対側の長さが変わらないものです。

右顎関節症だと、頭のテッペン（頭頂骨）の骨である頭頂骨の右側だけが反対側より下へさがり、顔の右の頬骨は前へ飛び出し、頭の後ろの耳寄りの後頭骨は後ろへ後退しているものですが、左右の頭頂骨を同じ高さにしますと、今度は左右の頭蓋骨は前後にズレを起こすものです。前後のズレを正常にした後、歯の咬み合わせに持ってくるものです。

ところが、外的障害を受けますと、頭蓋硬膜の緊張を起こすものです。

身体に合わない薬を服用したり、歯の矯正治療をしたり、電磁波を出すパソコン、携帯電話、又、人工歯であるインプラントを入れますと、電池付腕時計、電気毛布などから発生する微弱な電磁波でさえ、電磁波の中継基地になり常に体全体の血流が悪く、歳を増すにしたがって体が弱くなるものです。

又、上下の全体の歯の咬み合わせが高すぎたり、低すぎたりしますと、頭蓋鼓膜の緊張を起こすものです。特に上下の歯のない入れ歯は要注意です。

また、高圧電線の下、風力発電の周辺に住んでいるとか、新幹線のように強い電磁波を出す乗り物は、首の骨は後方カーブになり、頭蓋硬膜の緊張を起こしますが、在来線はそのようなことは無いですが、東京の地下鉄、私鉄のワンマン運転の運転席の後ろに立つと、新幹線ほどではないですが、電磁波を受け、頭蓋硬膜の緊張を起こします。

このワンマン運転の乗務員は眼鏡をかけている人を多く見かけるものです。

このように、頭蓋硬膜の緊張を起こしますと、頭のテッペン（頭頂骨）の骨は左右ともに足よりに押し付けられた状態となり、体全体の関節部分が圧迫された状態となるために、顎関節症のように箱を押しつぶしたひし形の形態の頭蓋骨にはならないものです。

正常に近い形になり、左右の足の長さがほんの少ししか変わらないものです。そして、体全体の血流が悪く、関節部にポキポキ、ジャリジャリと鳴ったり、人によっては血流が悪いために不眠症になったり、神経に沿って痛みが走る感じがするものです。

常に体全体がダルく、長期間続きますと視力が急激に低下するものです、眼は他の内臓よりも血液を必要とする為に、血液が悪いとスグに眼の疲れ、充血等が出るものです。